

かたの民報

2020年12月20日

NO. 1734

【発行】

日本共産党
市会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ

私部 1-1-1
☎892-0121
(内線 301)

12月議会 総務文教常任委員会

日本共産党、修正案を提案

1 中校区施設一体型小中一貫校を前提にした
長宝寺小学校での仮設校舎等整備予算（債務負担）
5億1607万円の削除を求める

多くの不安が未解決のまま

市は12月議会の補正予算で、一中校区の施設一体型小中一貫校を令和4年度から建設することを前提に、その工事期間中、長宝寺小学校の敷地で長宝寺小と交野小を統合する仮設校舎等を整備する予算5億1607万円を債務負担（次年度以降の予算をあらかじめ確保するもの）として提案しました。
日本共産党は12月11日の総務文教常任委員会で、



「保護者から通学路や一体校への不安が多く出されているが、解決策も示さず、理解が得られていないまま、見切り発車で小中統合の予算を提案すること自体、市民の声に背をむけるもの」だとして、債務負担を削除する修正案を提案しました。維新、公明、市民クラブなどが反対し、否決となりました。

日本共産党は、12月22日の本会議にも修正案を提出します。

総務文教常任委員会（野口委員長）での修正案への賛否 賛成：藤田・北尾（共産）
反対：友井（公明）、久保田（市民クラブ）、伊崎（維新）、松本、片岡



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎894-2835



藤田 まり
私部西
2-16-13-310
☎397-3027



北尾 まなぶ
倉治 7-8-7
☎893-3163

一中校区の施設一体型小中一貫校設置の賛否を問う

「住民投票条例」が提案される（山本議員・松村議員より）

12月14日、山本議員・松村議員より、「交野第一中学校区における施設一体型小中一貫校の設置の賛否を問う住民投票条例案」が提出されました。

する提案です。

内容は、一中校区の施設一体型小中一貫校について、市内全域の有権者に賛否を問う住民投票を実施

22日に委員会審査、24日に本会議で採決します。

一中校区の施設一体型小中一貫校の基本計画についてはパブリックコメントも実施されておらず、日本共産党は、市民の声を聞く住民投票に賛成です。市議会は会期を延長し、22日に委員会審査、24日に本会議で採決します。

住民投票の請求は、主に2つの方法があります。

①住民による請求（直接請求）

有権者の50分の1以上の連署で、市長に住民投票の条例制定を請求する。

（→市長は議会にかける）

②議員提案（←今回はこちら）

議員定数の12分の1以上の賛成者で住民投票条例の議案を議会に提出する。



議会で条例が可決すれば、住民投票の実施へ

議会日程

12月	22日(火)	10時～	本会議（議案、修正案採決）
		15時～	総務文教常任委員会 （「住民投票条例」審議）
	24日(木)	10時～	本会議（「住民投票条例」採決）